

地域医療構想と公的病院のあり方 について

平成29年 3 月13日 御坊保健所

1. 「地域医療構想と公的病院のあり方」について

和歌山県独自で「地域医療構想と公的病院のあり方」を策定

※「地域医療構想と公的病院のあり方」における公的病院とは
医療法第31条に定める公的医療機関等の他、労働者健康福祉機構の1病院、
国立病院機構の2病院を含めています。なお、精神科病院は除いています。

- ・国においても公的病院の役割の明確化などを議論
- ・当県では、公的病院が各地域で中心的役割を担ってきた経緯があることから、県は関係機関に対して「**地域医療構想と公的病院のあり方**」を示し、**積極的に周知**することが重要
- ・各公的病院は、地域の医療提供体制を考慮の上、自病院の役割を明確化し、**病床機能転換や、病床削減を含めた主体的な検討を行う必要**

□ 新公立病院改革プランの策定（策定主体：各公立病院）

- ・各公立病院は、地域医療構想と整合性の取れた新プランを本年度中に策定

「新公立病院改革プラン」の内容について（以下の4項目）

① 地域医療構想を踏まえた役割の明確化

- 将来の機能別の医療需要・必要病床数が示される地域医療構想と整合性のとれた形での当該公立病院の具体的な将来像を明確化
- 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割を明確化 等

再編・ネットワーク化

- 病院間で機能の重複・競合が見られる病院、病床利用率が低水準の病院等、再編・ネットワーク化を引き続き推進（公的・民間病院との再編等を含む） 等

経営の効率化

- 公立病院が担う役割を確保しつつ、黒字化を目指して、経常収支比率等の数値目標を設定し、経営を効率化
- 医師等の人材確保・育成、経営人材の登用等に留意しつつ、経費削減・収入増加等の具体的な取組を明記 等

経営形態の見直し

- 民間的経営手法導入等の観点から、地方独立行政法人化、指定管理者制度導入、地方公営企業法の全部適用、民間譲渡等経営形態の見直しを引き続き推進 等

公立病院（新プラン策定）

- ① 海南医療センター
- ② 国保野上厚生病院
- ③ 公立那賀病院
- ④ 橋本市民病院
- ⑤ 有田市立病院
- ⑥ 国保日高総合病院
- ⑦ 紀南病院
- ⑧ 国保すさみ病院
- ⑨ 新宮市立医療センター
- ⑩ くしもと町立病院
- ⑪ 那智勝浦町立温泉病院

- (精神) ⑫ 県立こころの医療センター
(精神) ⑬ 紀南こころの医療センター

2. 「地域医療構想と公的病院のあり方」について

(1) 再編・ネットワーク化の方向性（案）について

【基本的な考え方】

- 2025年までは原則現行の構想区域を維持
- 二次医療圏（構想区域）内を基本とした再編・ネットワーク化を推進
- 公的病院を中心として、民間病院も含めた病院機能の役割分担と連携を推進
- 地域医療構想の実現を目指し、2025年までに県全体で、約3,000床削減が必要
構想区域内の不足病床への転換は認めるが、それ以外は認めない
- 再編・ネットワーク化は病院の統廃合を目的とするものではない
- 全国の先進事例を参考に、取り組めることからネットワーク化を進める
- 公的病院に医師を適正配置
- 地域の実情を考慮し、自主的な取組を支援しながら関係機関等と十分協議して進める

【再編・ネットワーク化のメリット】

- 診療内容に関するメリット
 - ・ 診療科目の役割分担と医師配置の集約化
 - ・ 病床機能の分化、連携及び病床の再編
 - ・ 高額医療機器使用の治療連携
 - ・ 希少疾患の集約化
 - ・ 治験の活性化
- 経営状況に関するメリット
 - ・ 職員の人事交流と事務の効率化
 - ・ 複数の高額医療機器購入に対する入札減効果
 - ・ 診療材料、薬剤等の共同購入による合理化
 - ・ 病院給食の互助体系

【再編・ネットワーク化の組織類型（例示）】

- ① 地域医療連携推進法人（医療法の規定に基づく）
- ② 基幹病院の特定機能連携事例（広島がん高精度放射線治療センターなど）
- ③ 自治体（公立）病院機構（複数または全公立病院で構成する企業団）

2. 「地域医療構想と公的病院のあり方」について

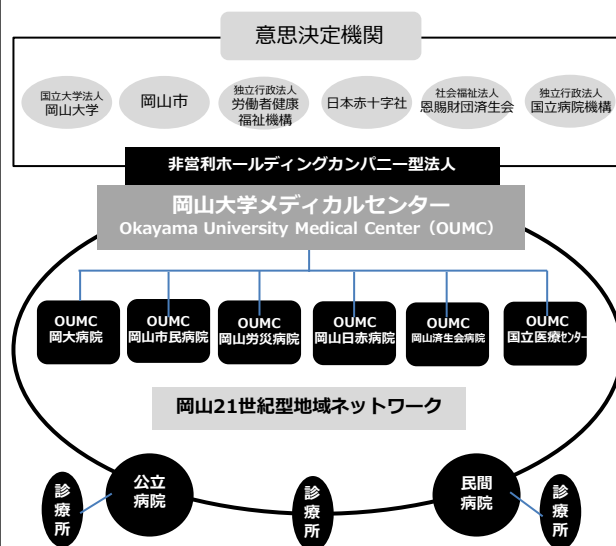
(2) 再編・ネットワーク化の組織類型（例示）

① 地域医療連携推進法人制度

- ・医療法の改正により平成29年4月から施行
- ・経営統合ではなく緩やかな統合
- ・別途、一般社団法人としてガバナンスを形成
- ・病院間の協調を進め、地域医療構想を達成
- ・統一的な医療連携推進方針のもと、病院間で病床の再編、医療機器の共同購入、医師の配置換え、診療科再編等実施

例) 岡山県

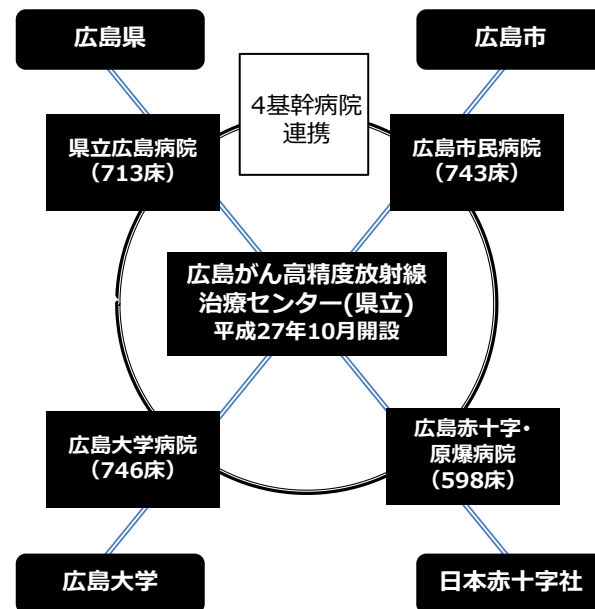
岡山大学メディカルセンター構想の概要



② 基幹病院の特定機能連携

- ・同一医療圏内の基幹病院の機能の重複を避け、高度先進医療を提供
- ・基幹病院は医療スタッフ派遣と患者の紹介。治療後は紹介病院に逆紹介
- ・公設民営（運営は県医師会に委託）
- ・他に、希少疾患の集約、治験の活性化、病院給食の互助体制等連携を検討

例) 広島県



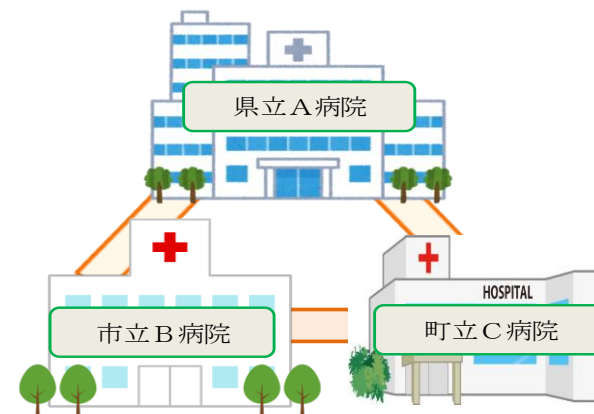
③ 自治体（公立）病院機構

- ・一部事務組合（企業団）
- ・複数または全公立病院により構成
- ・財務規定のほか組織や人事を含む地方公営企業法の全部を適用
- ・病院経営ガバナンスの一本化
- ・複数病院間の役割分担を整理、機能再編

例) 奈良県

南和広域医療企業団（県、1市3町8村）を設立し、南和地域の3公立病院を再編

自治体（公立）病院機構による
病院事業実施のイメージ



3. 各圏域における公的病院を中心とした再編・ネットワーク化の方向性（案）

（1）和歌山圏域

- ◆県立医大病院と日赤医療センターを中心とした基幹病院の診療連携
- ◆基幹病院間の医療機能集約と、診療材料の共同購入・高額医療機器の共同利用による経営合理化など

（2）那賀圏域

- ◆和歌山圏域又は橋本圏域との連携を検討
- ◆公立那賀病院を中心に、民間病院と機能分担・連携

（3）橋本圏域

- ◆南奈良総合医療センターへの患者流出動向を要分析
- ◆橋本市民病院を中心に、民間病院と機能分担・連携
- ◆紀北分院のあり方（圏域内検討及び大学病院として）

（4）有田圏域

- ◆有田市立病院と済生会有田病院の機能が重複する現状
- ◆両病院の建て替え機会を捉え、機能分担を整理

（5）御坊圏域

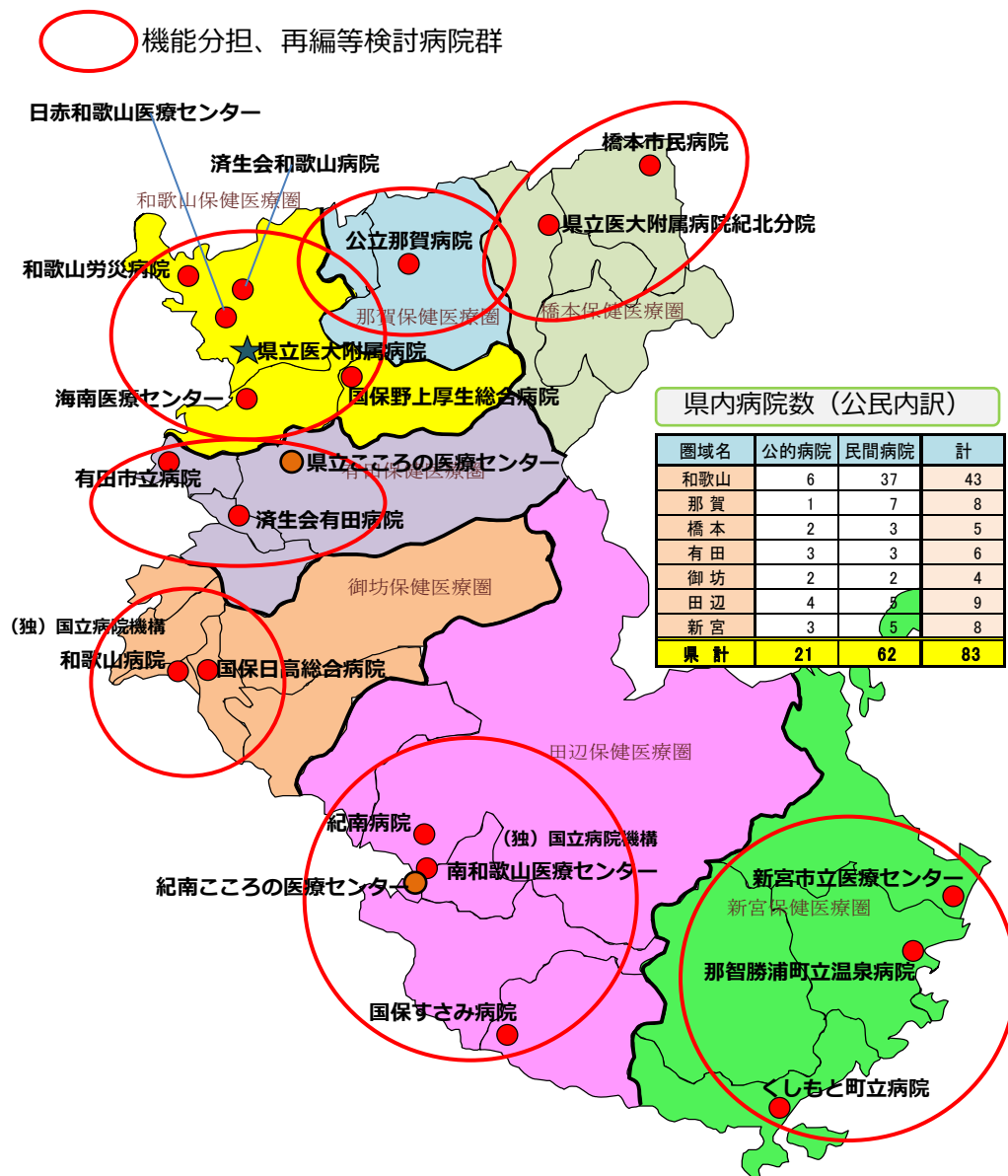
- ◆病院機能の分担が比較的なされている現状にあるが、国保日高総合病院と和歌山病院との間の連携を更に検討

（6）田辺圏域

- ◆紀南病院と南和歌山医療センターが中核基幹病院として存在
- ◆今後、周辺民間病院を含めた機能分担と連携体制を構築

（7）新宮圏域

- ◆新宮市立医療センターを核にサテライト病院化を図るなど、機能分担・連携を推進



4. 地域医療構想において定めた「2025年の必要病床数」と公的病院について

圏域名	医療機能	〔参考〕 2013年度の 必要病床数 (床)
和歌山	① 高度急性期	511
	② 急性期	1,554
	③ 回復期	1,629
	④ 慢性期	1,080
	小 計	4,774
那 賀	① 高度急性期	43
	② 急性期	224
	③ 回復期	207
	④ 慢性期	427
	小 計	901
橋 本	① 高度急性期	63
	② 急性期	245
	③ 回復期	292
	④ 慢性期	74
	小 計	674
有 田	① 高度急性期	24
	② 急性期	137
	③ 回復期	140
	④ 慢性期(特例)	257
	小 計	558
御 坊	① 高度急性期	41
	② 急性期	209
	③ 回復期	187
	④ 慢性期	255
	小 計	692
田 辺	① 高度急性期	151
	② 急性期	397
	③ 回復期	331
	④ 慢性期	384
	小 計	1,263
新 宮	① 高度急性期	48
	② 急性期	178
	③ 回復期	212
	④ 慢性期	236
	小 計	674
県 計	① 高度急性期	881
	② 急性期	2,944
	③ 回復期	2,998
	④ 慢性期	2,713
	小 計	9,536

【1】	【2】	【1-2】
2025年度の 必要病床数 (床)	〔参考〕 2014年7月1日現在の 病床(床) ※病床機能報告	
588	1,644	▲ 1,056
1,674	2,452	▲ 778
1,836	495	1,341
863	1,527	▲ 664
4,961	6,245	▲ 1,284
48	0	48
267	483	▲ 216
261	198	63
385	429	▲ 44
961	1,133	▲ 172
65		65
267	573	▲ 306
327	102	225
78	123	▲ 45
737	798	▲ 61
0	0	0
146	341	▲ 195
148	94	54
201	263	▲ 62
495	698	▲ 203
20	4	16
210	606	▲ 396
191	39	152
234	275	▲ 41
655	924	▲ 269
120	36	84
404	938	▲ 534
340	81	259
249	583	▲ 334
1,113	1,699	▲ 586
44	0	44
174	481	▲ 307
212	162	50
154	377	▲ 223
584	1,043	▲ 459
885	1,684	▲ 799
3,142	5,874	▲ 2,732
3,315	1,171	2,144
2,164	3,577	▲ 1,413
9,506	12,540	▲ 3,034

各公的病院の病床数(左表【2】関係)		病床数					
二次 医療圏	医 療 機 関 名	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	分類なし	計
①	和歌山県立医科大学附属病院	760					760
②	日本赤十字社和歌山医療センター	793				72	865
③	労働者健康福祉機構和歌山労災病院		303				303
④	済生会和歌山病院		160	40			200
⑤	海南医療センター	51	99				150
⑥	国保野上厚生総合病院		100		54		154
	小計(①～⑥)	1,604	662	40	54	72	2,432
	(参考A) 和歌山二次医療圏内 全病院の合計	1,644	2,249	409	1,373	72	5,747
⑦	那賀 公立那賀病院		300				300
	(参考B) 那賀二次医療圏内 全病院の合計		419	141	429		989
⑧	橋本市民病院		300				300
⑨	和歌山県立医科大学附属病院紀北分院		100				100
	小計(⑧～⑨)		400				400
	(参考C) 橋本二次医療圏内 全病院の合計		536	102	66		704
⑩	有田市立病院		99	54			153
⑪	済生会有田病院		104	40	(※) 40		184
	小計(⑩～⑪)		203	94	40		337
	(参考D) 有田二次医療圏内 全病院の合計		289	94	244		627
⑫	国保日高総合病院		300				300
⑬	国立病院機構和歌山病院		100		205		305
	小計(⑫～⑬)		400		205		605
	(参考E) 御坊二次医療圏内 全病院の合計	4	588	39	256		887
⑭	紀南病院	14	338				352
⑮	国立病院機構南和歌山医療センター	22	294				316
⑯	国保すさみ病院		48		(※) 24		72
	小計(⑭～⑯)	36	680		24		740
	(参考F) 田辺二次医療圏内 全病院の合計	36	886	81	532	23	1,558
⑰	新宮市立医療センター		300				300
⑱	くしもと町立病院		90		(※) 40		130
	那智勝浦町立温泉病院		45	45	(※) 60		150
	小計(⑰～⑱)		435	45	100		580
	(参考G) 新宮二次医療圏内 全病院の合計		435	143	358		936
公的病院 県計 (①～⑱の計)		1,640	3,080	179	423	72	5,394
参 考	県内全病院の合計(参考A～Gの計)	1,684	5,402	1,009	3,258	95	11,448
	県内有床診療所の合計		472	162	319	139	1,092
	県内医療機関の合計	1,684	5,874	1,171	3,577	234	12,540

(※)を付した慢性期病床(4病院、計164床)は、平成29年度末で廃止が予定されている療養病床(療養病床入院基本料2(2.5対1の看護体制))であり、今後、転換・廃止等の対応が必要。